

ビジョン実現に向けた方向性 | <自分らしいスタイルが実現できるまち>

(参考)

シナリオ	将来への取組	指標	阪神南			前回調査との比較	全県		全県順位		昨年順位との比較
			R5	R6	R7		R7	全県値との比較	R6	R7	
1 地域と趣味としごとが重なる暮らし	テレワーク環境の整備など、業務環境の整備を推進する	①自分にあつた職業への就職や転職がしやすい社会だと思う	13.1%	14.2%	19.5%	△	16.2%	△	3位	2位	△
		②多様な働き方を選択しやすい社会だと思う (キーワード:テレワーク、フレックスタイム、副業など)	24.6%	21.2%	32.9%	△	26.7%	△	4位	1位	△
		③ICT(情報通信技術)などにより、どこにいても便利に暮らせる社会になってきていると思う (キーワード:ビデオ通話、テレワーク、オンラインショッピング、オンライン診療など)	53.0%	47.9%	53.4%	△	49.4%	△	3位	2位	△
		④商売、事業を新たに始めやすい社会だと思う	12.0%	11.6%	14.5%	△	11.8%	△	4位	2位	△
		⑤しごとと自分の生活の両立ができています	53.1%	51.9%	48.9%	▼	56.5%	▼	10位	10位	-
2 いつからでも誰でもスタートアップ	高度な専門的知識を習得する機会が広がる	①大学進学率	75.0%	76.2%	76.2%	-	68.6%	△	2位	2位	-
		⑥新たな知識や技能を身につけたり、専門性をみがぐために、だれもが学びたいときに学び直すことのできる社会になっていると思う (再掲)商売、事業を新たに始めやすい社会だと思う	14.1%	13.5%	19.0%	△	18.9%	-	7位	2位	△
		②社会教育の推進を活動目的としているNPO法人数(団体数)	182件	174件	171件	▼	1,018件		5位	2位	△
		③単位老人クラブ数加入率、及び単位老人クラブ数(加入率)	9.6%	8.9%	8.1%	-	10.1%	▼	7位	6位	△
3 多様な人々が住みやすいまち	あらゆる人々がライフステージに応じた多様な生き方が選択・実現できる機会をつくる	④シルバー人材センター会員数	7,341人	7,232人	7,100人	▼	34,915人		1位	1位	-
		⑦職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場がある (キーワード:サークル、スポーツクラブ、コミュニティカフェなど)	41.1%	37.6%	36.5%	▼	38.3%	▼	6位	4位	△
		⑧住んでいる地域には、年齢、性別、障害の有無、国籍などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思う	38.3%	42.1%	42.9%	-	37.1%	△	1位	2位	▼
		⑨子育てとの両立がしやすい労働環境が整っている社会だと思う	12.0%	17.0%	22.0%	△	17.1%	△	2位	1位	△
		⑩住んでいる地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思う	49.2%	56.1%	52.8%	▼	43.6%	△	1位	1位	-
		⑪ハラスメントの予防・解決に向けた取組が社会全体として進んでいると思う (キーワード:セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティハラスメントなど)	14.2%	19.4%	27.6%	△	22.4%	△	3位	1位	△
		⑫若者が希望を持てる社会だと思う	9.9%	8.5%	11.3%	△	11.3%	-	6位	4位	△
		⑤外国人県民数	22,316人	23,629人	25,596人	△	142,676人		2位	2位	-
4 多文化共生で人々がいきいきと暮らせるまち	地域に暮らす人々が、日本や外国の文化を学び、異文化交流をすすめる	⑬外国の文化や人々と接してみたいと思う	41.1%	39.6%	38.4%	▼	38.9%	-	2位	3位	▼
		⑭住んでいる地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思う (再掲)○住んでいる地域には、年齢、性別、障害の有無、国籍などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思う	33.0%	32.9%	32.8%	-	24.0%	△	1位	2位	▼
		⑥外国人県民数	22,316人	23,629人	25,596人	△	142,676人		2位	2位	-
		⑭住んでいる地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思う	33.0%	32.9%	32.8%	-	24.0%	△	1位	2位	▼

【表の見方】 ※1 指標のうち、○は主観指標。●は客観指標。出典は、表記がない場合、兵庫県調べ。
 ※2 前回調査及び全県値との比較は、前回値又は全県値より大きいものは「△」、小さいものは「▼」、差異が1ポイント未満のもの(主観指標)は「-」で表示。
 ※3 昨年順位と比較は、昨年度より上位の場合は「△」、下位の場合は「▼」、同位の場合は「-」で表示。
 ※4 斜線部分は当該年度の数値が存在しない、又は比較ができないものを表示。